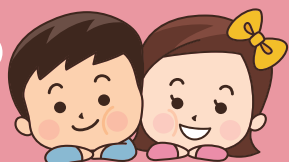




食を必要とする "1人"のために



特定非営利活動法人フードバンクTAMA

〒191-0062 日野市多摩平 2-12-4

TEL:042-514-9515

Email: foodbank.tama@gmail.com

URL: <http://www.foodbank-tama.com>

コロナ禍から超物価高に切りかわったこの一年

昨年下半年期になるにつれ新型コロナウイルスの影響は下火になってきたものの、入れ替わるように諸物価の高騰が顕著になってきた。その影響は、すべての家庭を直撃しており、特に生活困窮家庭は、一層の厳しさにさらされている。電気代や食料品などの生活必需品に集中的に値上げが一層深刻な状況となっている。公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンの2023年4月の調査報告 (https://cfc.or.jp/wp-content/uploads/2023/04/23_0418_report.pdf) によると、生活困窮家庭の物価高騰の影響は、約7割の家庭が「とても生活が苦しくなった」また、5割以上の家庭で子どもの学習や教育に関する支出が減少しており、今後減少する可能性も含めると約9割にのぼると回答している。また、調査に回答した親御さんからは次のような声が届いている。「コロナ禍で世帯主の給与が8割減になり子供の塾をやめてもらうしかなかった。塾をやめてから学習意欲や登校意欲が下がり不登校ぎみになってしまいました」、「このまま全ての物が高騰していくと思うと、私の収入で育てて行けるのかとても不安です。子ども達には夢があります。塾にも笑顔で行かせてあげたいです。心配しかありません」

「高校受験に向けての勉強の為に、せめて中学3年の間は塾に通わせてあげたいのですが、水道、光熱費の高騰、食費の高騰で思うようにお金が回らず、子供の将来を潰してしまうのでは無いかと不安です」

こうした状況の中、当フードバンクは、昨年度延べ53,000世帯に合計185トンの食品を無償提供した。月あたりでは、4,400世帯各家庭当たり35キロの食品を提供したが、各家庭が食す食品量を満たしているとは言い難く、できればその倍程度の食品提供が望ましいが、倉庫の許容量、スタッフの作業量、食品企業等からの受贈量を判断して、現在の提供重量を増やすことは難しい。この1年で、食品を提供していただいた企業・団体・市民は前年の1.6倍になっており、感謝にたえない。また、補助金・助成金も前年に増して獲得でき、あわせて寄附金もたくさん寄せられた。これにより、安定して活動を運営できることに感謝申し上げたい。本年も、物価高傾向は続く見通しであるが、当フードバンクは、何より子どもがいる生活困窮家庭への食支援を精力的に展開していきたい。

芝田 晴一朗 (フードバンク TAMA 事務局長)

日野市社会福祉協議会からの報告

日頃より、フードバンク TAMA のみなさまに多くのご支援をいただき誠にありがとうございます。私は設立前から関わらせていただいておりますが、この間にフードバンク TAMA の活動が広域に、そして多くの食品を取り扱うようになった現状を見ると、現代社会の厳しさを実感するところです。

特に新型コロナウイルス感染症により多くの方が、生活困窮状態になったということもありますが、コロナが2類から5類になった今も物価高騰によりいまだに苦しい生活を強いられている状況が続いています。こうした活動を見ていくと、新型コロナウイルス感染症や物価高騰は生活に困窮する方が顕在化するきっかけとなっただけで、これまでも多くの方が苦しい生活を送っていたのだということが分かります。

日野市社会福祉協議会はフードバンク TAMA と2017年1月から連携協定を結び活動を共にしていますが、食品をいつでも供給していただけることで、様々な当事者と最前線で向き合う福祉関係機関と連携を取り、支援の手を広げられるようになりました。

フードバンク TAMA が2019年から開始したフードパントリー事業では、生活に困ったときにいつでも食料を受け取れる仕組みを市内の様々な社会福祉法人と共に構築してきました。現在では、市内の11か所で食品が受け取れるようになっています。利用される方は増加しており(2023年5月は約267件)、今後は利用された方の生活が改善できるように、食品をお渡しするだけでなく、寄り添った伴走型支援が必要だということを実感しています。

また、市民の方から子ども食堂を始めたいといった相談がある中、活動を始めるにあたって必要になる食材の提供についてはフードバンク TAMA に繋いでいるところです。子どものために食の支援や安心できる居場所を作りたいという市民の方への大きな後押しをしていただいています。

今後も、子どもを中心に幅広い方への支援をフードバンク TAMA と共に進めていきたいと思っております。

宮崎 雅也 (日野市社会福祉協議会・課長補佐)

食品企業様や個人の方から多くの食品が届けられました。ありがとうございました。

受贈

主食 : 70,966 ㍴

野菜 : 31,226 ㍴

調味料 : 20,115 ㍴

飲料 : 30,005 ㍴

菓子等 : 20,008 ㍴

2022 年度に、児童福祉施設・子ども食堂等へ寄付した食品の種類と量

提供

主食 : 68,556 ㍴

野菜 : 30,222 ㍴

調味料 : 18,006 ㍴

飲料 : 28,994 ㍴

菓子等 : 18,997 ㍴

八王子市「dattochi みんなの食堂」から報告

昨年度は、通常の食堂開催（お弁当配布）11 回、総計 1554 食と、食料配布 15 回、総計 668 世帯に提供しました。

また、これに加えて 7 月に採択された「夏休みに体重の減る子を出さない為のプロジェクト」の助成金で、7 月から翌年 3 月迄に 10 回の食料配布を追加開催して、更に 390 世帯の方々に、食料を提供しました。

コロナ禍での、失職、雇い止め等の影響で利用者は増える一方、加えて物価高もあり、最近ではお弁当も食料も配布予定の申し込みサイトをオープンすると 15 分も待たずにいっぱいになります。

今の、dattochi みんなの食堂の現状では、提供出来る数や規模に限界があり、増えている利用者のニーズには応え切れてはいないかもしれませんが、少しでも支援出来ればと思っています。

そんな中で、とても頼りになるのがフードバンク TAMA さんの存在です。子ども食堂の運転資金は、有志の方の寄付金や補助金・助成金をあててののですが、それにも限りがあります。毎回 150 食程度のお弁当や 50 世帯に近い家庭への食料支援は本当に大変です。

フードバンク TAMA さんには、倉庫が 2 つ、大型冷凍庫もあり冷凍品も受け入れていらっしゃる。食料を提供したい企業やメーカー側とその食料の提供を待っている利用者さんの間で、いつも沢山の食料を捌いて下さる TAMA さんに心から感謝です。

毎回現場で利用者さんから「有難うございます。助かります。」とお礼を言われます。その言葉、TAMA さんにお伝えしますね。

「有難うございます。助かります。」

高橋 加代（八王子市・dattochi みんなの食堂代表）

温かい励ましと食材の提供に感謝!!

すずらん食堂はフードバンク TAMA 様と 2020 年からご縁を頂き、食料品を提供して頂いております。食料品を受け取りに伺った時には必ず元気になるお声かけや、温かい励ましをして下さり心より感謝申し上げます。

コロナ禍の大変な状況の中では「よし、頑張ろう」とやる気を出して乗り越えて、お陰様で現在も開催することができております。大変有り難うございました。

すずらん食堂は 2019 年 6 月に設立し 8 月にはこども食堂をご理解いただくために、地域の町会長や小中学校の校長先生や民生委員などをご招待し、オープンセレモニーを行いました。9 月からは食事会をスタートさせ毎回 100 名以上の方が参加して下さい大盛況でした。

2020 年 3 月からはコロナ禍のため食事会が開催出来なくなり、子ども達の繋がりを切らさないために食料配布に切り替えて一軒一軒ご自宅にお届けし高齢者の安否確認もしてきました。半年たった時には配布数が多くなり拠点の集会所まで食料品を取りに来て頂き、100 世帯分を用意し食料配布をしてきました。このようなコロナ禍で一番大変な時に食料品を下さり応援をして支えて下さったのがフードバンク TAMA 様でした。

昨年度は工夫をしながら開催している様子を NHK とテレビ東京で放送。フードバンク TAMA さんに行った時に取材を受け TBS でも放送された嬉しいこともありました。

その後も参加者が多くなったため、子育て世代の方々に優先にして、現在は食事会を昨年 7 月の第 2 土曜日から再開し、食料配布を第 4 土曜日に開催しております。色々な方々が参加されておりますが皆様とも楽しく会話が出来るようになりました。

これからも皆様のお役に立てるように初心を忘れずスタッフとボランティアで力を合わせて誠実に真心込めて頑張って開催してまいります。9 月には 4 周年記念イベントを楽しく行う予定です。

フードバンク TAMA 様にはお世話になりますが引き続きご支援ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

小林 鈴子（八王子市・すずらん食堂代表）

